

## 2020年度期 第3回理事会 議事録

日時：2021年3月30日（火） 15：00～17:05

開催方法：オンライン

出席理事・監事： 樗木、南津、杉村、佐藤、柘原、冨成、中村、宮原、石原、加藤、関根、山内、笠原（敬称略）

### 【審議事項】

#### 審議事項 第1号議案：前回の議事録の確認

- ・第2回の議事録は承認された。

#### 審議事項 第2号議案：会員の異動：

- ・中山千佐子会員、吉川真理子会員、島崎美登里会員、斎藤早苗会員の退会が承認された。
- ・大橋由紀子氏の再入会が承認された。
- ・過去2年間、会費を納入しているものの名簿への記載がなかった篠原美登里氏について、入会届を提出のうえ入会してもらうことが承認された。

#### 審議事項 第3号議案：第11回年次大会について

- ・開催形式について審議され、新型コロナウイルスの感染拡大状況が見通せない事、また会場に予定されている東海大学湘南キャンパスでの使用許可が不透明な事から、今回はハイブリッドではなく、オンラインのみで開催することが承認された。

#### 審議事項 第4号議案：夏季セミナーについて

- ・石原理事より開催内容について提案があり、次の内容で承認された。詳細は末尾の別紙「資料2 理事会夏季セミナー案」を参照。

・テーマ：「独立メディアの役割：デモクラシー・ノウ！の取り組みと日本での展開」  
(仮)

##### ①第一部：講演

- ・講師：中野真紀子氏（デモクラシー・ノウ！ジャパン 代表）  
「独立メディア Democracy Now! の活動と日本での展開」

##### ②第二部：ワークショップ

- ・講師：長沼美香子氏（神戸市外国語大学 教授）  
「Democracy Now! の動画ニュースに字幕をつけてみよう」

- ・時期：9月中旬の日曜日（9月12日もしくは19日）を軸に検討する。

- ・謝礼の支払い方法：5万円をデモクラシー・ノウ！側へ一括で支払い、その中で分

配して頂く。

- ・地区例会との共催について審議された。西日本地区長の杉村理事より、現在企画している案の実現可能性を検討し、地区例会が可能なら夏季セミナーとは独立で行い、不可能なら共催、ということが承認された。企画案の状況については、杉村理事より理事会メンバーリングリストで報告して頂き、その内容を受けて石原理事が準備を進めることが確認された。

#### **審議事項 第5号議案：学術財団について**

- ・日本学術会議協力学術団体実態調査に回答済みであることが南津理事から報告された。

#### **審議事項 第6号議案：会員獲得策について**

- ・入会の対象範囲を広げる観点から、文学を専門にする研究者にも門戸を広げてはどうか、という提案が南津理事からなされた。
- ・具体的手段について、年次大会の発表とは別枠で、学部生の卒論や大学院生の修論の合評会などを設ければ、指導教員を学会に誘導する機会につながるのではないかと、との提案が杉村理事と宮原理事からなされた。
- ・以上の提案事項について、次回以降の理事会で引き続き検討することが承認された。

#### **【報告事項】**

##### **報告事項 第1号議案：第10回年次大会総括および申し送り事項**

- ・前年度の運営委員長だった南津事務局長より報告された。詳細は末尾の別紙「資料1事務局資料」を参照。

##### **報告事項 第2号議案：学会誌第11号**

- ・冨成理事から、編集委員会のメンバーや発行スケジュールについて報告された。詳細は末尾の別紙「資料3学会誌第11号」を参照。

##### **報告事項 第3号議案：NL等広報関係報告**

- ・柘原理事より、HPやメンバーリングリストへの掲載は、各地区の地区長や分科会の代表が直接担当することが確認された。
- ・メンバーリングリストへの投稿者はこれまで限定されていたが、今後は地区長や分科会代表が自由に投稿できるようにし、またそのことをメンバーリングリスト等でお知らせすることが確認された。
- ・ニューズレター139号の内容案について、杉村理事より報告された。詳細は末尾の別紙「資料4NL139号」を参照。

## 報告事項 第4号議案：経理報告

- ・佐藤理事より、年会費について以下の未納状況が報告された(2021年3月30日現在)。詳細は末尾の別紙「資料5 経理報告」を参照。
  - ・一般会員 175 人中、未納者 61 人 (うち 4 年以上未納者は 4 人)。
  - ・賛助会員 5 人中、未納者 1 人
  - ・購読会員 8 人中、未納者 1 人
- ・このうち、4 年以上の未納者 4 人について、規定に従い除名することが理事会で承認された。
- ・年会費は毎年 9 月末締めだが、締め日を過ぎて新年度に入った後に退会するものが少ない。こうした退会者の取扱いについて審議した結果、以下が承認された。
  - ・締め日から 1 か月後の 10 月末日までに未納年会費を納入し、退会を届け出れば、10 月 1 日から始まる新年度の年会費については追徴しない。11 月 1 日を含めて、11 月 1 日またはそれ以降に退会の連絡があった場合は、前年度分の未納年会費に加え、当該年度の納付義務が生じる。
  - ・前年度分が完納であった場合でも、11 月 1 日を含めて、11 月 1 日またはそれ以降に退会の連絡があった場合は、当該年度の納付義務が生じる。
  - ・会計年度について周知するとともに未納年会費の納入をよびかける連絡を、経理担当の佐藤理事からメーリングリストに流して頂く。
- ・地区例会予算および分科会の予算の清算方法の変更について樗木会長より提案があり、審議の結果、以下のように変更することが了承された。
  - ・これまでは経理が年間予算をまとめて各代表に振り込み、年度末に未消化分が各代表から経理に戻されていた。だがこれでは振込手数料が二重に発生してしまい、また予算の消化自体が目的になってしまう面も否定できない。
  - ・そこで、予算の総額はそのまま維持したうえで、年間予算をまとめて振り込むことはやめ、各地区および分科会で経費が必要になれば、その都度、経理に請求して清算する方法に変更する。
  - ・なお 2020 年度については、分科会にはすでに予算を振り込み済みであるため、移行措置として従来通りの処理を行う。地区例会については新方式で処理する。
- ・次回の理事会は 7 月を目処に調整する。

### ■資料①事務局資料

## 審議事項 第1号議案 会員の異動

### 退会

	氏名	事由	
1	中山千佐子	一身上の都合	承認済

2	吉川真理子	不明（振込用紙に退会の意思）	承認済
3	島崎美登里	定年退職	承認済
4	斎藤早苗	本人急逝	

#### 再入会

	氏名	事由	
1	大橋由紀子	「もう少し続けてみようと思う」とのこと	

#### 入会？

	氏名	事由	
1	篠原美登里	共愛学園前橋国際大学 * 過去の名簿に登録なし * 2020 年度振り込み（住所連絡先なし） * 2021 年振り込み（住所連絡先あり）	

#### 審議事項 第5号議案 学術団体

日本学術会議協力学術団体実態調査に回答済み

#### 報告事項 第1号議案 第10回年次大会について

2020年3月末	年次大会中止の決定 →予定していた実行委員へ中止の連絡
2020年4月	・オンラインでの年次大会の決定 →予定していた実行委員へオンライン開催の連絡と委嘱 ・リアルタイム発表・オンデマンド発表枠の決定
2020年5月	・MLで年次大会のオンライン開催のアナウンス
2020年6月	・MLとHPで年次大会の告知と発表の募集（8月7日締切） *数が集まらない可能性があったため運営委員にも声を掛ける *会員以外でも関心がありそうな人へ声を掛ける
2020年7月	1. 発表者・視聴者の簡易版マニュアル作成（PPT版 Win/Mac） ・リアルタイム発表者用（中内・南津） ・オンデマンド発表者用（中内・南津） *zoomを使用していない人向け 画面共有とカメラ・マイクの設定、質疑応答用 *PC操作に疎い方も参加できるように

	<p>2. 参加者用簡易版マニュアルの作成 (PPT版 Win/Mac) (稲永・仲西)</p> <p>*zoom を使用していない人向け ミーティングへのログイン方法 とマイクとカメラの操作</p> <p>*PC 操作に疎い方も参加できるように</p> <p>3. 会場となる部屋の確保</p>
2020年8月	<p>1. 詳細版マニュアルの作成 (染谷・南津→運営員でチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営・司会者用</li> <li>・視聴者用</li> <li>・発表者用</li> </ul> <p>2. 発表者締め切りと選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員 11</li> <li>・運営委員 2</li> <li>・勧誘した新規会員 2</li> </ul> <p>*リアルタイム枠希望が6、オンデマンド枠希望が9となっていたため、運営員の発表者2名にリアルタイム枠へ移ってもらうようお願いした</p> <p>3. ポスター作成 (杉村・工藤)</p> <p>4. 基調講演の演者の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 内田樹氏 (金井) →当日は先約があるため不可</li> <li>② 斉藤美奈子 (杉村) →オンラインで話ことは不可</li> <li>③ 阿部公彦 (金井) →OK</li> </ul> <p>5. 学生アルバイトの決定 (3名)</p> <p>6. 予稿集の作成 (金井・工藤)</p>
2020年9月	<p>1. 参加申込フォームの作成 (google form と QR コード)</p> <p>2. HP 上にポスターや年次大会情報のアップ開始</p> <p>3. 予稿集原稿作成依頼 (仲西)</p> <p>4. 賛助会員への広告依頼の開始 (吉村先生)</p> <p>5. 練習と本番の役割分担の決定</p> <p>*実行委員の人数が多いため、司会は運営委員が行うことにした。</p> <p>*リアルタイム発表枠では司会者 (運営員) と、zoom の開室や参加者の入室許可を行う共同ホスト (学生バイト) を置いた</p>
2020年10月	<p>1. zoom の契約 (ビジネスプラン) (稲永)</p> <p>2. リアルタイム発表者の練習 (取りまとめ: 仲西)</p> <p>3. 参加者申込者へマニュアルの送信 (工藤)</p> <p>4. Wi-Fi の確保</p>

#### <運営委員について>

1. もともと10回記念大会として2日間で行うことを予定していたため、7名確保してきたが、そのままオンライン開催でも引き受けてもらえた。初のオンライン開催だったために多い方が安心できた。
2. 運営委員間での情報共有：コロナ禍のために運営員とは対面で会うことができなかつたため、メーリングリストを作成して頻繁にやりとりを行いつつ、資料などはDropboxを使用してシェアした（どの媒体を使用して資料の共有を行うかについては、運営委員に意見を聞いた）。
3. 分担の振り分けについては、運営委員に自発的に担当したいものをしてもらうことを優先しつつ、負担の片寄りが生じないように配慮した（つもり）。運営委員長としては一通り全てを把握するようにした（つもり）。結果的に、運営委員にはほぼほぼサポートしてもらう結果となった。
4. 運営委員に経理委員長がいたため、経理関係の一切をお願いすることができた。（立て替えなどで混乱が生じることはなかった）

#### <本部とWi-Fi回線の確保>

1. 開催校の都合上本部は一部屋しか確保できなかった（他のイベントにも貸し出す予定を打診されていた）。
2. 本部には運営委員長と学生の予定であったが、結果的には回線の不安を訴える運営委員が集まったため、部屋を2部屋以上確保しておいた方が良い（貸し出しが無料であれば）。
3. 学外者向けのWi-Fiアカウントを確保しておく。

#### <リハーサル>

1. 提示資料の確認やスムーズな運営のために、リハーサルは合計3回行った。（昼食交流会などへの予算が必要なくなったため、学生アルバイトにもリハーサルに参加してもらい、アルバイト代に計上した）

#### <リアルタイム発表とオンデマンド発表について>

1. 今回はリアルタイム発表とオンデマンド発表に分けた。発表者にはオンデマンド発表の方が人気だったが、参加者がオンデマンド発表をどれだけ視聴したかわからないため（ページごとにアクセスを見る機能はない）、リアルタイム発表メインにしても良いのではないか。
2. オンデマンド発表の動画は、予め発表者にgoogleドライブに保存してもらい、共有設定をすることで動画を獲得した。ただ、HP上に動画のURLだけでなく、素人が動画をページにはめ込む作業には骨を折った（画質や大きさまではオンデマンド発表者に指定

していなかった)。

#### <その他>

1. 発表全体が終わってから交流会を設定したが、賛助会員にとっては会員と交流する機会を図ることができて良かったと思うものの、参加者全員がそれを望んでいたわけでもないため、工夫の余地は大いにある。
2. マニュアルの作成など過去の積み重ねが無いものは、運営委員に一任するのは非常に危険である（運営委員の人数が少ない場合や精通している人がいない場合もありうる）。今後、イベントそのものやイベント内で初めて行う要素がある場合、理事会でバックアップサポートする体制が必要だろう（イベントの引き受け手がなくなることが懸念される）。

#### ■資料②夏季セミナー資料

2021年3月30日（火）

文責：夏季セミナー担当  
石原知英

#### JAMES 夏季セミナー2021（案）

##### 1. 開催方法と時期

- ・オンライン（Zoomなどの遠隔LIVE方式）での開催
- ・日時：2021年夏頃

##### 2. 企画

- ・テーマ：独立メディアの役割：デモクラシー・ノウ！の取り組みと日本での展開

##### ・内容

第一部 講演 13:00-14:00

講師：中野真紀子氏（デモクラシー・ノウ！ジャパン 代表）

「独立メディア Democracy Now! の活動と日本での展開（仮）」

- ・デモクラシー・ノウ！ジャパン <http://democracynow.jp/>

- ・独立メディアとは何か、マスメディアとの違い、担う役割など

- ・Democracy Now! がどのような活動をしているか
- ・デモクラシー・ノウ！ジャパンがどのような活動をしているか
- ・質疑応答

第二部 ワークショップ 14:30-16:00

講師：長沼美香子氏（神戸市外国語大学 教授）・田辺希久子氏（神戸女学院大学 教授）

## 「Democracy Now! の動画ニュースに字幕をつけてみよう（仮）」

- ・字幕翻訳とはどのような行為であるか
- ・ニュース翻訳の難しさ、制約、工夫、留意点
- ・字幕作成の演習、グループワーク
- ・作成した字幕に対する講評
- ・授業で取り扱うには：字幕コンテストの案内

### 3. その他

- ・2019年度ファクトチェックのときの参加者数21名（うち非会員3名）
- ・夏季セミナーの予算は50,000円／謝礼はデモクラシーナウ事務局宛に（先方で配分する）
- ？各地区例会との共催：使える予算が増えるが会員の研究発表の場（地区例会）が減るの  
どうか
- ？トピック・内容的に、どうでしょうか

#### ■資料③学会誌関係資料

第3回理事会 第11号学会誌について  
絢子

(2021/3/30) 富成

#### 学会誌編集委員会

##### 1. 編集委員会メンバーについて（敬称略）

編集委員長：富成 絢子

副編集委員長：高木 佐知子、石原 知英

編集委員：

（継続）南津 佳広、稲永 知世

（新規）山内 圭、白倉 美里、福本 明子

#### 査読委員（第3期2019-2023）

① 石原 知英

② 稲永 知世

③ 井上 彩

④ 白倉 美里

⑤ 樗木勇作

⑥ ~~河原一清志~~（× 学会を休会） → 富成絢子（河原先生の残りの任期、第4期  
に入る）

⑦ 鈴木 健



- ⑧ 関根 紳太郎
- ⑨ 相田 洋明
- ⑩ 染谷 泰正
- ⑪ 高木 佐知子
- ⑫ 藤牧 新
- ⑬ 南津 佳広
- ⑭ 宮畑 一範
- ⑮ 安田 優
- ⑯ 山内 圭
- ⑰ 山本 成代
- ⑱ 吉田 国子

2 今後の予定

3月31日 投稿締め切り

4月～5月初旬 査読

5月中旬～6月初旬 修正

6月初旬～7月初旬 再査読

8月下旬 印刷、発送予定

■資料④経理資料

経理報告

1. 会員数と会費納入状況

2021年3月30日現在

会員種別	人数	会費納入状況
名誉会員	7	—
一般会員	175	未納なし 114 1年未納 (20年度) 35 2年未納 (20年度、19年度) 7 3年未納 (20年度、19年度、18年度) 14 3年未納 (20年度、19年度、16年度) 1 4年未納 (20年度、19年度、18年度、17年度、) 3 5年未納 (20年度、19年度、18年度、17年度、16年度) 1
賛助会員	5	未納 1 (20年度)
購読会員	8	未納 1 (20年度)

合計	195	
----	-----	--

文責：佐藤文子